

みんなの声を
力に変えて

Vol. 14
令和3年4月

静岡県議会議員

我が郷土・明るい駿東（長泉町・清水町）の
未来のために

坪内ひでき 県政レポート



拝啓 晩春の候 皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。
はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表させていただきますとともに、感染してご闘病されている方々、ご家族の皆様にお見舞いを申し上げます。また命を守るため、地域医療を守るため、今も最前線でご尽力を頂いている医療関係者の皆様、活動自粛の要請をはじめ、感染拡大の防止にご協力を頂いている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。引き続き県・行政と連携して、広範かつ積極的な経済対策と生活支援に全魂を傾注するとともに、町民の皆様のお声を関係機関にお届けして、一日も早い感染拡大の終息と安心に取り組んで参ります。何かご意見やご要望等ございましたらお気軽に仰せください。春光あまねく満ちわたる季節、皆様のご多幸をお祈りいたします。

坪内ひでき

令和3年2月定例議会

静岡県のビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり～帰去来 いざ！故郷“ふじのくに”へ～

1. 令和3年度当初予算案と組織定数の改編

2. ウイズコロナ・アフターコロナ時代の先導的な地域づくり

- (1) 感染拡大防止とリスクへの備え
- (2) 「フジノミクス」による経済の拡大
- (3) 「ふじのくにライフスタイル」の創出

3. 人づくり・富づくりの総仕上げ

- (1) 命を守る安全な地域づくり
- (2) 安心して暮らせる医療・福祉の充実
- (3) 子供が健やかに学び育つ社会の形成
- (4) 誰もが活躍できる社会の実現
- (5) 富をつくる産業の展開
- (6) 多彩なライフスタイルの提案
- (7) “ふじのくに”の魅力の向上と発信
- (8) 世界の人々との交流の拡大

令和3年度予算が確定しました！

■令和3年度静岡県一般会計予算 1兆3,094億円

のうち新型コロナウイルス感染症対策費は、537億7,600万円

①感染拡大防止とリスクへの備え 500億9,800万円

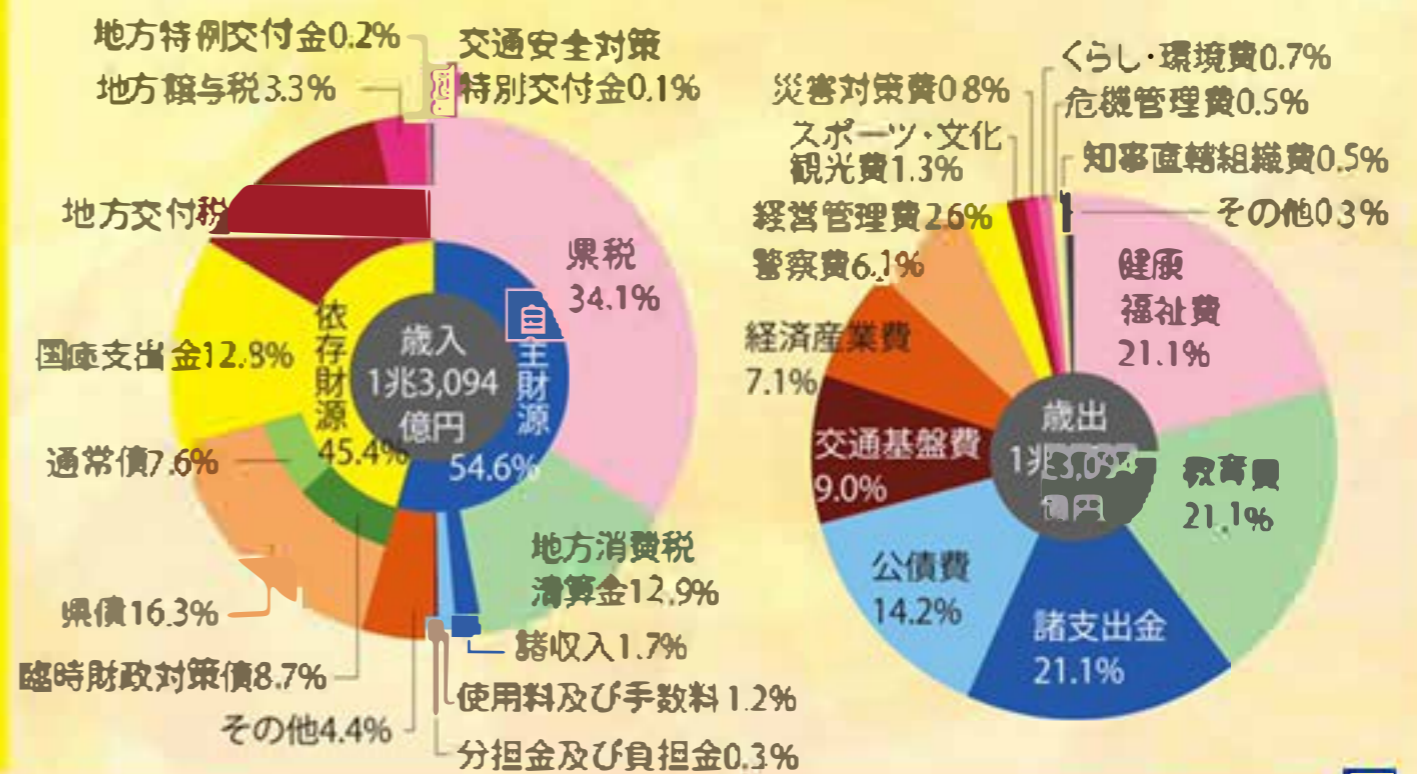
- ワクチン接種体制の整備
- 感染者受け入れ病床の確保やPCR検査
- 学校や幼稚園にマスクや消毒液を配備
- 福祉避難所やホテル・旅館の感染防止策を支援
- 生活困窮者等対策関連事業費 ほか

②中小企業の生産性向上、業態転換等による経済の拡大 20億700万円

- 新たな地域経済圏における販路開拓事業費
- 中小企業の新たなビジネスモデルへの挑戦を支援
- 観光需要の再喚起と、本格回復に向けた観光促進施策
- 水産物販売緊急対策事業費助成 ほか

③新しい働き方や暮らし方に対応した多彩なライフスタイルの創出

- テレワークスペース確保のための住宅改修支援
- デジタル化等促進就業訓練事業費
- 移住・定住関連事業費 ほか



活動レポート < 2021年1月~4月 >

駿東郡になにか活かせることがないか、日々勉強しています！



アポーヨ柿田川の開所式に参加致しました。障がいをお持ちの方の就労を目的として、必要な知識や技術の習得、能力の向上に役立つさまざまな訓練を提供している、厚生労働省の認定を受けた指定就労移行支援事業所です。利用者の皆さん、職員の皆さんのご活躍とご発展をお祈りしております。



清水町と公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構との健康長寿社会の形成における連携に関する協定締結式に立会人として参加。健康社会の実現に向けお互い力を出し合い、大いに利用し合いwin-winの関係が強くなる協定であり、清水町の「笑街健康」の計画推進と推進機構の益々の発展展開を祈念しました。



県飲食業団体より、顧客消滅による窮状を鑑み、業界への緊急支援について、要望書の提出が行われました。私も様々な地元の叫びをお受けしております。これを受け、知事宛てに自民改革会議政務調査会が緊急対応の申入れを行いました。飲食業関連は引き続きの窮状であり、一日も早くお支えしなくてはなりません。引き続き尽力していきます。



新築した伊豆の国特別支援学校と順天堂大学静岡病院ドクターヘリ、ヘリポート、ドクターヘリ格納庫の視察。支援学校は竣工したばかりであり、子供達の喜ぶ笑顔が待ち遠しいです。ドクターヘリは病院やドクターにも御負担が多いが、患者を助けたいとの気持ちで活躍して頂いています。何方の施設も県東部に無くてはならない大切な施設であり、引き続きお支えしていけるように尽力していきます。

令和3年2月県議会定例会にて、一般質問に登壇しました！



一般質問の内容

- ①沼津駅周辺総合整備事業について
- ②清水町内の交通渋滞緩和に向けた取組について
- ③アーツカウンシルしずおかについて
- ④静岡がんセンターの外来環境の改善に向けた取組について
- ⑤知事の年末年始の帰省における危機管理について

①沼津駅周辺総合整備事業について

一つは就任早々に貨物不要論を展開したことであります。二つ目の転機は、パブリックインボルブメントの手法を導入であります。三つ目の転機は、知事が事業推進を表明したことであります。私が挙げたこの三つの期間で四年、貨物不要を展開してから現在まででは、十年もの歳月がかかったということです。まさに、知事の発言により地元へ混乱を起し、地域の発展が大幅に遅れたのであります。とは言うものの、地権者の皆様のご協力により、いよいよ工事の着工を見据える段階になってきました。これまでの遅れを取り返す為にも、予算の確保が必要です。昨年度から、これまでの社会資本整備総合交付金事業に代わって、国庫補助事業として採択されているとのことであり、国もこの事業の必要性を認めています。そこで、今後工事着手に向けどのように進めていくのか伺う。

②清水町内の交通渋滞緩和に向けた取組について

町内の南北交通を担う路線のうち、国道1号八幡交差点に接続する県道沼津三島線は、町内の住宅地とJR三島駅方面を結ぶバス路線であるとともに、二次救急医療機関である静岡医療センターに向かう救急搬送ルートとしても重要な路線であります。国道1号との交差点部に右折レーン等がなく、改善に向けた取組を進める余地があるのではないかと考えます。そこで国道1号八幡交差点の、県道沼津三島線側における、交通渋滞緩和に向けた取組について伺う。

③アーツカウンシルしずおかについて

長泉町では本県ゆかりの作家、井上靖先生の業績を紹介する「井上靖文学館」を、町が事業譲渡を受け、運営に当たることになりました。こうした地域の遺産である施設を、保存に止まらず、地域住民の為になるよう、いかに活用するかが、重要であると考えます。「アーツカウンシルしずおか」における、地域住民の活動支援においては、長期的にしっかりと活動が持続できるよう、そして静岡に定着した文化とする、そうした仕組みづくりの構築も視野に入れて支援を進めていくべき考えますが、県の所見を伺う。

④静岡がんセンターの外来環境の改善に向けた取組について

開院から十九年が経過し、特に外来エリアにおいては経年により一部消耗している備品等も見受けられ、メンテナンスや増設が必要との意見も聞いております。患者数の増加や医療の高度化等の変化に対応する為、また新型コロナウイルス感染症対策のためにも、院内環境の改善が必要であると思われまます。今後二十年目を迎えるにあたって、時代とともに進化する病院になってほしいと切望しております。そこで静岡がんセンターの外来環境の改善に向けた取組について伺う。

⑤知事の年末年始の帰省における危機管理について

年末の状況と言えは東京都をはじめとする首都圏では、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、緊急事態宣言の再発令が取り沙汰されるなどして、他知事は対応に追われ奮闘する姿がよく見られました。まさに危機的な状況が続いていました。首都圏に隣接する本県においても、年末の東部地域における病床占有率が約60%で推移する、病床が逼迫した状況にあるなど危機的な状況に陥る恐れがある中、コロナウイルス感染リスクもいとわず、懸命に対応して頂いた医療関係従事者は勿論のこと、県の関係部局、保健所の職員も昼夜を問わず新型コロナウイルスの対応に奔走していたのであります。それにも関わらず、会食のお誘い等を避けるため、12月26日から1月3日までの9日間も、現場である静岡県を離れた、放棄した、ともとられる事をしたのであります。県行政のトップたる知事が静岡を離れたことは、緊急時の対応に遅れを招きかねず、危機管理の上で問題だったと言わざるを得ません。自ら範を示す立場にありながら、自覚が足りないと言わざるをえません。これでは、県民の信頼・尊敬・共感を得るところか、トップの県民生活への影響に対する危機意識のなさや、無関心、県民への寄り添いが無いと、政治不信にもつながるのではと大いに憂慮します。年末年始に軽井沢へ帰省したことについて、どのような気持ち、認識でいるのか、危機管理の観点も踏まえて、知事の考えを伺う。

一般質問登壇に関して様々なメディアで扱って頂きました！



令和3年3月2日 静岡朝日テレビ



令和3年3月3日 静岡新聞

知事の年末不在
自民県議が批判
県議「知事不在で
県政が停滞する
心配だ」と
知事不在で
県政が停滞する
心配だ」と
知事不在で
県政が停滞する
心配だ」と

令和3年3月3日 毎日新聞

沼津鉄道高架事業 進捗巡り論戦

川勝氏「必要な時間だった」
「沼津駅周辺総合整備事業」の進捗が遅れていると指摘する議員と、知事が「必要な時間だった」と答える場面があった。知事は「地元へ混乱を起し、地域の発展が大幅に遅れた」と述べ、貨物不要論を展開したと批判された。知事は「地元へ混乱を起し、地域の発展が大幅に遅れた」と述べ、貨物不要論を展開したと批判された。知事は「地元へ混乱を起し、地域の発展が大幅に遅れた」と述べ、貨物不要論を展開したと批判された。

令和3年3月3日 静岡新聞

静岡県議会議員 坪内ひでき事務所

〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩452-4 TEL: 055-957-3933
http://tsubouchi-hideki.jp/ 坪内ひでき 検索 FAX: 055-957-3934

ご意見やご要望等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

活動報告など日々の情報も配信中!



Facebook

Instagram